

平成 30 年 度

東 京 藝 術 大 学

大学院音楽研究科(博士後期課程)

学 生 募 集 要 項

平成 29 年 7 月

東 京 藝 術 大 学

〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8

電 話 0 5 0 ( 5 5 2 5 ) 2 3 0 9

**30**

## 受験上の注意事項

- (1) 試験実施日時は、出願者数の多寡により多少変更することがある。その場合、平成30年2月1日(木)午後4時以降、試験に関する注意事項と同時に新日程を音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表するので、受験者本人が必ず確認すること。(19ページを参照)
- (2) 試験に関する諸事項は、掲示及び本学ホームページにより発表するので、常に掲示等に注意すること。なお、掲示等に記載された番号は、本学受験票の受験番号である。
- (3) 実技試験における「試験の順番」は、係員の指示に従うこと。
- (4) 試験当日は、定められた集合時刻を厳守すること。なお、実技試験において、定められた集合時刻に遅れた者には受験を許可しない。(万一やむを得ない事情により遅れた場合は、ただちに係員に申し出ること。)
- (5) 試験当日、受験者(伴奏者を含む)は、試験に関する掲示により発表された「集合場所及び控室(5-109室)」に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- (6) 不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- (7) 以下の行為を禁じる。違反した場合は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めないことがある。
  - ・「集合場所及び控室」での発声又は楽器の練習
  - ・「集合場所及び控室」から試験場へ行く途中の廊下等での発声または楽器の練習
  - ・音出し室、控室にあるピアノの使用(ただし、ピアノ受験者は、係員の指示に従うこと。)
  - ・本学建物内での全ての録音及び写真・映像等の撮影
  - ・携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用
- (8) 受験の際は、常に受験票を携帯し、入構の際は、守衛所の係員に提示して入構すること。万一受験票を忘れた場合には、係員に申し出ること。
- (9) 携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等を持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- (10) 食事のため学外に出る場合には、正門出入りの際、守衛所の係員に受験票を提示すること。
- (11) 試験に関する電話による問い合わせには、原則として応じない。
- (12) 本学に駐車場はない。

## 目 次

○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー	… 1 ページ
I 募集人員	… 1 ページ
II 出願資格	… 1 ページ
○ 平成30年度の教育研究組織整備計画について	… 2 ページ
III 標準修業年限	… 3 ページ
IV 出願手続	… 3 ページ
V 願書等提出上の注意事項	… 11 ページ
VI 選抜試験の内容及び日程	… 11 ページ
VII 選抜試験場	… 19 ページ
VIII 最終合格者の発表	… 20 ページ
IX 入学手続き等について	… 20 ページ
X 研究領域及び指導教員	… 21 ページ
XI 個人情報の取り扱いについて	… 22 ページ
入学手続書類送付用宛名ラベル	… 添付
作品・演奏曲目提出用紙	… 添付
志望理由書	… 添付

## ○ 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科は、高度に専門的かつ広範な視野に立ち、音楽についての深遠な学識と技術を授けること、音楽に関わる各分野における創造、表現、研究又は音楽に関する職業等に必要の優れた能力を養うこと、さらには自立して創作、研究活動を行うに必要な高い能力を備えた教育研究者の養成を目的としている。

この教育理念に基づき、本研究科は、音楽に関しての豊富な知見、高度の技術と卓越した研究能力を持ち、なおかつ、幅広い視野や興味・関心、柔軟な感性、独創的な構想力、論理的な思考力、強い意志を持っている人材を求めている。

## I 募集人員

専攻	募集人員	研究領域	研究分野	
音楽	20名	作曲		
		声乐		
		鍵盤楽器		
		弦・管・打楽器	弦楽器	
			管楽器	
			打楽器	
		室内楽		
		古楽		
		指揮		
		邦楽		
		音楽文化学	音楽学	
			音楽教育	
ソルフェージュ				
音楽文芸				
		音楽音響創造		

[注意]

志願者は、1つの研究領域（研究分野）に限り出願できる。

### ●東京藝術大学大学院音楽研究科（博士後期課程）音楽専攻音楽文化学研究領域応用音楽学研究分野及び芸術環境創造研究分野の募集停止について

大学院音楽研究科（博士後期課程）音楽専攻音楽文化学研究領域応用音楽学研究分野及び芸術環境創造研究分野は、平成30年度に設置計画中の大学院国際芸術創造研究科（博士後期課程）アートプロデュース専攻に改組予定であるため、平成30年度以降、当該研究分野の募集は行わない。

## II 出願資格

本研究科（博士後期課程）に出願できる者は、次の各号の一に該当する者とする。

1. 修士の学位又は専門職学位を有する者（平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位取得見込の者を含む）
2. 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成30年3月までに修士又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
3. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
4. 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
5. 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）
6. 外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有す

る者と同等以上の学力があると認められた者（平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得見込の者を含む）

7. 文部科学大臣の指定した者

① 大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

② 外国において学校教育における16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者

8. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24歳に達したものの

※ 出願資格2～5により出願を希望する者は、事前に音楽学部教務係へ問い合わせること。

※ 出願資格6～8により出願を希望する者は、事前に出願資格審査を受ける必要があるの  
で、至急音楽学部教務係へ必要書類を請求し、平成29年11月10日(金)午後4時までに提出  
すること。

○ 平成30年度の教育研究組織整備計画について

東京藝術大学では、平成30年度から、大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（博士後期課程）の整備を計画しております。この計画については、文部科学省大学設置・学校法人審議会の審査をもって確定するものですが、これに伴い、平成30年度入学者選抜（平成29年度実施）は、整備後の入学定員（募集人員）等により実施します。

なお、新設する大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（博士後期課程）に係る入学試験の出願にあたっては、今後発表する当該入学試験の学生募集要項等（11月上旬に配布予定）をご確認願います。

※ ここに記載している設置計画は、文部科学省大学設置・学校法人審議会によって確定するものであり、変更があり得ます。

1 設置計画及び入学定員の変更

【設置前（平成29年度）】

○大学院音楽研究科（博士後期課程） 音楽専攻	25人
---------------------------	-----



【設置後（平成30年度）】

○大学院音楽研究科（博士後期課程） 音楽専攻	20人（5人減）
○ 大学院国際芸術創造研究科 （博士後期課程） アートプロデュース専攻	5人（新設）

（募集停止について）

上記の変更に伴い、大学院音楽研究科音楽専攻応用音楽学研究分野及び芸術環境創造研究分野は大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻に改組するため当該研究分野の募集は行いません。

2 「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（博士後期課程）」の設置計画

（1）設置目的

国際的かつ分野横断的に、展覧会、演奏会、アートプロジェクト、文化政策等を企画、立案、運営したり、芸術と社会の関係を研究し、自ら新しい芸術文化のあり方を提示する実践的人材の養成を目的として、平成28年度に修士課程を設置したアートプロデュース専攻に新たに博士後期課程を設置し、より高度な実践家及び教育研究者の育成を目指します。

（2）授与する学位

博士（学術）

### III 標準修業年限 3年

## IV 出願手続

### 1. 出願手順・方法

本学の大学院入学試験の出願方法は、「インターネット出願」とする。出願手続の手順・方法は以下のとおりである。以下①, ②を指定された期間内に行い, ③の必要書類を提出期限内に本学に郵送すること。到着した書類に不備がなく出願資格を有することが確認された時点で出願手続き完了となる。出願が受理されると、「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。(詳細は10ページ参照)

①	インターネット出願登録 (詳細は6ページ参照)	パソコン等で本学「入試情報サイト」から「インターネット出願サイト」にアクセスし, 必要情報を入力, 登録すること。
②	入学検定料の支払い (詳細は7ページ参照)	①の完了後, 「インターネット出願サイト」の指示に従って, 入学検定料を支払うこと。
③	必要書類の送付 (詳細は9ページ参照)	②の完了後, 本学「入試情報サイト」及び「インターネット出願サイト」から必要書類等を印刷し, 他の必要書類とともに本学に郵送すること。
④	受験票の印刷 (詳細は10ページ参照)	出願資格等が確認されて出願が受理されると, 「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。志願者各自が印刷して試験時に受験票を持参すること。

### 2. 出願期間

インターネット 出願登録期間	入学検定料支払期間	必要書類提出期限
平成30年1月4日(木) 10:00から 平成30年1月9日(火) 23:59まで	平成30年1月4日(木) 10:00から 平成30年1月12日(金) 23:59まで	平成30年1月12日(金) までの消印があるもの を受け付ける。

(注) 出願書類を直接大学に持参したもの, 上記期限を過ぎたものは, いかなる理由があっても受け付けない。ただし, 「作曲作品」, 「修士論文及びその写し」については, 持参も認める。詳細は11ページ参照。

### 3. 出願上の注意

- 「インターネット出願」は, 「インターネット出願サイト」からの登録だけでは出願手続完了にはならない。入学検定料(7ページ参照)を支払期限までに支払い, 必要書類(9ページ参照)を提出期限までに書留・速達郵便にて本学に郵送する必要がある。
- 提出された願書に書かれている学歴等が出願資格を満たしていると確認された場合, 出願が受理され, 「インターネット出願サイト」から受験票が印刷できるようになる。
- 提出された必要書類に不備・不足がある場合, 出願を受理できない場合がある。
- 出願登録完了後は, 登録内容は一切変更できない。また, 出願受理後はいかなる理由があっても書類の変更は認めない。

インターネット出願する前に必ず確認すること		
パソコン等の動作環境の確認	<p>インターネット出願は、以下の環境で行うこと。</p> <p>【ブラウザ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Internet Explorer 11以降</li> <li>• Microsoft Edge</li> <li>• Google Chrome 51以降</li> <li>• Mozilla Firefox 50以降</li> <li>• Apple Safari 8以降</li> </ul> <p>※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合がある。複数タブでの同時申込操作は控えること。</p> <p>【PC】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Microsoft Windows Vista/7/8/10</li> <li>• Apple Mac OS X 10.8-11</li> </ul> <p>※スマートフォン、タブレットは非推奨</p>	
メールの設定	<p>登録されたメールアドレスにメールが以下4回送信される。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① インターネット出願登録時のテストメール</li> <li>② 出願登録完了時の自動返信メール</li> <li>③ 入学検定料支払い完了時の自動返信メール</li> <li>④ 受験票が取得可能になった際の通知メール</li> </ol> <p>メールは <a href="mailto:no-reply@e-apply.jp">no-reply@e-apply.jp</a> から送信される。 あらかじめ受信できるように設定しておくこと。</p>	
写真の用意	<p>出願には顔写真データ（2MBまで）が必要である。 脱帽、上半身、正面向、背景なし、出願前3か月以内に撮影のカラー写真データを用意すること。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 提出する写真は縦長であること（比率は縦4、横3が望ましい）</li> </ul> <p>&lt;使用できない写真の例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 不鮮明なもの、背景が暗いもの、顔が横向きのもの、複数名で写っているもの、画像に加工を施しているもの等</li> </ul> <p>※提出された写真は、最終合格後学生証に使用する。</p>	
書類の用意	出願資格を証明する書類	<p>③必要書類（9ページ）参照の上、出願に必要な提出書類は、提出期限に間に合うようあらかじめ用意すること。 卒業証明書など、学歴が確認できる書類については、インターネット出願登録を行う前に用意すること。</p>
	その他出願に必要な提出書類	<p>志願する研究領域・研究分野に応じて提出書類が異なる。 提出書式は本学「入試情報サイト」及び「インターネット出願サイト」よりダウンロードできるので、出願に必要な書類を事前に確認し用意すること。</p>
封筒の用意	<p>必要書類郵送のために、市販の角2封筒（240mm×332mm）を用意すること。</p>	
用紙の用意	<p>「インターネット出願サイト」から印刷する書類等はA4サイズに印刷します。A4サイズの普通コピー用紙（白）を用意すること。</p>	

※「インターネット出願サイト」内「事前準備」も併せて確認すること。

○インターネット出願システムの操作方法・入学検定料支払方法に関する問い合わせ先  
株式会社ディスコ「学び・教育」出願・申込サービス サポートセンター  
電話：0120-202-079（平日10：00～18：00 土・日・祝日・年末年始を除く。）  
※入試に関する質問は不可。

○入試に関する問い合わせ先  
東京藝術大学音楽学部教務係 Tel：050-5525-2309  
（平日 9：00～16：30まで。土曜・日曜・祝日および夏期休業期間，年末年始を除く。）  
※やむを得ない場合を除き志願者本人が問い合わせをすること。

#### 4. 障害のある入学志願者の事前相談について

受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする志願者は、音楽学部教務係に事前相談すること。様式任意の書面に志望課程・志望専攻・志望研究分野，障害の種類・程度，受験上の特別な措置及び修学上の特別な配慮を必要とする事項等を記載し，医師の診断書または障害者手帳（写し）を添付して，平成29年11月10日（金）までに書留郵便にて提出すること。なお，出願締切以後の不慮の事故による負傷者等においても，速やかに音楽学部教務係に相談すること。

送付先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学音楽学部教務係

- (注)・事前相談に対する回答には，相当の期間（1～2か月）を要する場合があるため，早めに相談すること。  
・事前相談は，希望するすべての内容に対応できるとは限らない。

## 5. 出願手順・方法の詳細

### 1 インターネット出願登録

出願登録期間内に本学ホームページ上の「入試情報サイト」トップページの「Web 出願」から「インターネット出願サイト」にアクセスし、「音楽学部・音楽研究科の出願手続を行う」をクリックして出願に必要な情報を登録する。最初に、トップページ下段の「インターネット出願利用手順」等を熟読してから登録を始めること。

<b>手順</b>	
「インターネット出願サイト」( <a href="http://e-apply.jp/e/geidai-net/">http://e-apply.jp/e/geidai-net/</a> ) にアクセス	
▼	
トップページにある「音楽学部・音楽研究科の出願手続を行う」(赤いボタン) をクリック	
▼	
<b>出願登録</b>	入力画面に沿って入力、登録をする。 <ul style="list-style-type: none"><li>・志望先の選択 [志望課程・志望専攻・志望研究分野]</li><li>・志願者情報</li></ul> 以下の2点に注意すること。 <ul style="list-style-type: none"><li>* テストメールの受信確認：必ず「テストメール送信」ボタンを押してメールが受信できることを確認すること。(4ページ参照)</li><li>* 写真のアップロード：カラーの顔写真データを用意し、アップロードすること。(4ページ参照)</li></ul>
▼	
<b>申込内容の確認</b>	決済情報の他、入力した内容の確認画面が出る。内容をよく確認し、誤りがなければ「上記内容で申込みする」のボタンをクリックする。
▼	
<b>登録完了</b>	画面に「受付番号」が表示されたら登録は完了である。支払手続に進む。なお受付番号は、出願内容の確認、検定料の支払い、必要書類の印刷等が必要となる。

※インターネット出願登録が完了すると、登録されたメールアドレスに登録完了メールが届く。(登録完了メールには受付番号が表記されているので、入試終了まで大切に保管すること。)

#### 【インターネット出願登録に係わる注意事項】

- ・インターネット出願登録完了時に表示される「受付番号」は、受験番号ではない。
- ・登録内容に間違いがある場合は入学検定料を支払わずにもう一度最初から登録すること。
- ・出願登録した日から起算し、その4日後の23時59分までに支払手続が行われなかった場合、出願登録したデータはキャンセルとみなされ、データが削除されるので注意すること。
- ・写真は出願写真として適切でないと判断された場合、再提出を求める場合がある。



## 2 入学検定料の支払い

入学検定料の支払いは、1のインターネット出願登録完了後に行う。出願登録完了後、以下の①、②のいずれかの方法で支払い手続きをする。

- ① 出願登録完了後「入学検定料の支払いを行う」をクリックし、支払う。
- ② 「インターネット出願サイト」のトップページの「音楽学部・音楽研究科の出願内容確認/入学願書の印刷」からログインして「入学検定料の支払いを行う」をクリックし、支払う。

入学検定料	支払期間
36,000円	平成30年1月4日(木)10:00～1月12日(金)23:59

※支払方法によって、別途振込手数料が必要な場合がある。

※平成30年3月に本学大学院研究科（修士課程）修了見込みの者及び、国費外国人留学生は納入不要である。

支払い方法	取扱機関等	その他
コンビニエンスストア	セブン-イレブン/ローソン、ミニストップ (Loppi) /ファミリーマート (Famiポート) /サークルK・サンクス (Kステーション) /デイリーヤマザキ、スリーエフ/セイコーマート (クラブステーション)	志願者本人の名義でなくても構わない。
クレジットカード	MUFGCARD / DC / UFJ / NICOS / VISA / Master Card / JCB / AMERICAN EXPRESS	
郵便局・銀行 ATM	Pay-easy 対応 ATM	
ネットバンキング	ペイジー対応ネットバンキング/ジャパネット銀行/楽天銀行/住信 SBI ネット銀行/じぶん銀行	

※入学検定料の支払いが完了すると、登録されたメールアドレスに支払手続き完了メールが届く。

### 【入学検定料に係わる注意事項】

- ・支払手続きに関する詳細・注意点等については、「インターネット出願サイト」のトップページから「支払方法」を参照して確認すること。
- ・支払期限が過ぎると入学検定料を支払うことができない。
- ・支払期限までに支払いが完了しない場合、出願登録したデータは消去されるので注意すること。
- ・入学検定料支払いが完了していない場合、「インターネット出願サイト」から出願に必要な書類等は印刷できない。
- ・クレジットカード決済で支払う場合は有効なカードを用意すること。
- ・クレジットカードでの支払いができない場合は、ほかのカードで決済するか、別の決済手段で支払うこと。
- ・「国費外国人留学生」は入学検定料の支払いは不要である。ただし、「国費外国人留学生在籍証明書」を在籍する大学から発行してもらい3の必要書類（9ページ参照）とともに本学に提出すること。

### 【入学検定料免除制度について】

平成23年3月に発生した東日本大震災及び、平成28年4月に発生した熊本地震において被災した志願者に対し、進学機会の確保を図る観点から入学検定料免除の特別措置を実施する。申請時期などの詳細は本学「入試情報サイト」を確認すること。

- ① 提出書類
  - ◇入学検定料免除申請書（本学指定様式）
  - ◇罹災証明書等の写し（市区町村等が発行）

## ②注意事項

- ◇インターネット出願登録は、免除の結果が決定した後に行うこと。
  - ◇詳細は本学「入試情報サイト」で確認すること。(http://admissions.geidai.ac.jp/)
- 問い合わせ先：東京藝術大学学生課入学試験係  
TEL：050-5525-2075／FAX：03-5685-7763

### 【入学検定料の返還について】

次の場合を除き、いかなる理由があっても既納の入学検定料は返還しない。

- ・入学検定料を支払い、必要書類を提出したが出願が受理されなかった場合
- ・入学検定料を支払ったが、必要書類を提出しなかった場合

該当する場合の返還請求の方法は下記の通りである。

本学所定の用紙「検定料返還請求願」（本学「入試情報サイト」よりダウンロード・印刷すること）に必要事項を記入・捺印し、下記送付先に郵送すること。

送付先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学戦略企画課経理係

- (注)
- ・入学検定料支払時に発生した手数料は返還対象外である。
  - ・大学から志願者への返還金額は、入学検定料の金額から返還時の振込手数料を差し引いた額である。
  - ・「検定料返還請求願」受領後、返還金の振込まで通常約2～3ヶ月かかる。
  - ・「検定料返還請求願」の提出期限は平成30年3月31日とする。  
期限までに提出がない場合、入学検定料は返還しない。

### 3 必要書類の送付

必要書類の送付は、入学検定料の支払い完了後に行う。「インターネット出願サイト」より該当書類及び「封筒貼付用宛名シート」を印刷し、封筒に「封筒貼付用宛名シート」を貼付すること。

自身の出願研究領域等に応じたすべての必要書類を封筒に入れて、提出期限までに書留・速達郵便で本学へ郵送すること。

必要書類を印刷する際は、すべてA4サイズの普通コピー用紙（白）を使用し、カラー印刷すること。

必要書類	要領等	備考
(1) 入学願書・写真票	入力する氏名は、原則戸籍と同一文字でなければならない。その他の提出書類についても同様である。	全員提出 「インターネット出願サイト」より印刷
(2) 入学手続書類送付用宛名ラベル	最終合格者への書類送付時に使用するラベル。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。）を記入する。	本学「入試情報サイト」内各種様式のページよりダウンロードする。 用紙を印刷の上、必要事項を記入して提出すること。
(3) 修士課程修了（見込）証明書	本学大学院修士課程を修了又は修了見込の者は提出不要。	
(4) 成績証明書	出身大学長または研究科の長が作成したもの。（本学大学院修士課程を修了又は修了見込の者は提出不要。）厳封すること。	
(5) 修士論文（写し可）	2部提出すること。 （注1）本学大学院音楽研究科修士課程修了見込の者は、提出不要である。（作曲研究領域志願者を除く） （注2）修士論文が学位取得要件とされていない大学院出身者は、次のいずれかを提出すること。 ① 学位審査演奏等の録画メディア（DVD, VHS）または録音メディア（CD, カセットテープ） ② 当該研究分野に関わる修士論文相当のもの（ただし、音楽文化学研究領域志願者は、必ず②を提出すること。この但し書きは（注1）にかかわらず、本学大学院音楽研究科修士課程修了見込の者にも適用される。） （注3）音楽文化学研究領域志願者中、当該研究分野と関連をもたない内容の修士論文で学位を修得している者は、修士論文の他に、当該研究分野に関わる修士論文相当のものを併せて提出すること。 （注4）論文等の研究成果がある場合、参考資料として付け加えることができる。 （注5）修士論文等が日本語以外で執筆されている場合は、日本語要旨（2000字程度）を添付すること。	該当者のみ 様式任意
(6) 作曲作品	作曲研究領域志願者のみ要提出。提出部数は、各1部でよい。（12ページ参照）	
(7) 国費外国人留学生 在籍証明書	国費外国人留学生は、在籍大学に対し、その身分を証明する書面の発行を依頼し、本学に提出すること。	
(8) 作品・演奏曲目提出用紙	所定の用紙に記入すること。（音楽文化学研究領域志願者は提出不要。）	本学「入試情報サイト」内各種様式のページよりダウンロードする。
(9) 志望理由書	提出は、オルガン、弦楽器研究分野、邦楽研究領域の各志願者。（400字以内）	用紙を印刷の上、必要事項を記入して提出すること。
(10) 受験許可書	現に教職その他の公職にある者及び会社等に在職中で、服務義務のある者は <b>所属長の受験許可書</b> を添付すること。	該当者のみ 様式任意
(11) その他	婚姻等により証明書と現在の姓が異なる場合は、戸籍抄本を添付すること。	

**【必要書類に係わる注意事項】**

- ・日本語以外で書かれた書類には、必ず日本語訳を添付すること。(公的機関の証明は不要。出願者が訳したもので構わない。)
- ・郵送された必要書類の受領確認に関する問い合わせは受け付けない。
- ・本研究科が指定していない書類は一切提出しないこと。
- ・提出された書類は返却しない。
- ・出願受理後は、いかなる理由があっても書類の変更は認めない。
- ・その他、必要に応じて証明書等の提出を本学が求める場合がある。

必要書類郵送に際して用意するもの	
封筒	市販の角2封筒(240mm×332mm)を各自で用意する。
封筒貼付用宛名シート	「インターネット出願サイト」より印刷する。 (入学願書を印刷すると自動的に印刷される。)

必要書類郵送先：〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学音楽学部教務係

**4 受験票の印刷**

受験票は、出願受理後に「インターネット出願サイト」から印刷できるようになる。受験票の印刷ができるようになると、登録したメールアドレスに受験票印刷準備完了の通知メールが届く。志願者が各自でA4サイズの普通コピー用紙(白)に印刷し、試験当日に持参すること。なお、受験票は本学からは郵送しない。

受験票の印刷可能期間：平成30年1月22日(月) 16:00以降

**【受験票に係わる注意事項】**

- ・受験票を印刷後、記載内容について必ず確認すること。  
「インターネット出願サイト」で登録した内容と受験票の記載内容が異なる場合、受験票の印刷可能期間になっても、受験票が印刷できるようにならない場合は、平成30年1月26日(金)17:00までに音楽学部教務係へ連絡すること。
- ・登録内容は「インターネット出願サイト」の、「音楽学部・音楽研究科の出願内容の確認/入学願書の印刷ページ」で照会できる。
- ・試験当日は印刷した受験票が必要である。出願登録した際の受付番号、スマートフォン等の受験票の画像では受験できない。
- ・インターネット出願登録した際の受付番号と受験番号は異なる。
- ・出願登録完了後にメールアドレスを変更すると、受験票印刷準備完了の通知メールが届かないので注意すること。

連絡先：東京藝術大学音楽学部教務係 Tel:050-5525-2309

(月～金 9:00～16:30まで)

休業期間：土曜・日曜・祝日および平成29年8月11日(金)～平成29年8月20日(日)、平成29年12月29日(金)～平成30年1月3日(水)

## V 願書等提出上の注意事項

1. 願書等は、すべて「書留・速達郵便」による郵送受付である。ただし、「作曲作品」,「修士論文及びその写し」については、平成30年1月4日(木)から平成30年1月12日(金)までの間(ただし、土・日・祝日は除く。受付時間9:00~16:30)に音楽学部教務係に直接持参したのも受け付ける。また願書等とは別便により郵送をする場合は、平成30年1月4日(木)から平成30年1月12日(金)までの間の消印のあるものを受け付ける。
2. 願書等提出後は、いかなる事情があっても書類の変更はできない。

## VI 選抜試験の内容及び日程

### 1. 選抜方法

入学者の選抜は、専攻実技、小論文、口述試問、語学、修士論文、志望理由書及び出身大学長(研究科の長)から提出された成績証明書の各資料を総合して判定する。

### 2. 試験科目

研究領域	試験科目			
作曲	専攻実技及び口述試問	作品審査及び口述試問	研究計画に関する小論文及び口述試問	語学
声乐				
鍵盤楽器				
弦・管・打楽器				
室内楽				
古楽				
指揮				
邦楽				
音楽文化学	専攻分野の論文(修士論文を含む)に関する口述試問			

### 3. 試験科目概要

#### (1) 専攻実技等

研究領域	研究分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
作曲			<p>1) 作品提出 二管編成以上の管弦楽作品、およびアンサンブル作品（演奏者2名以上8名以内で声楽を含むも可）の、各一曲の楽譜を提出する。本学修士課程修了見込の者は、修了作品を提出してもよい。</p> <p>2) 修士論文提出 修士論文を提出する。外国人の場合は、日本語によるものとする。本学修士課程修了見込の者は、修士論文を提出する。</p> <p>3) 口述試問 「博士論文」のテーマと研究方法についての口述試問を行う。「博士論文」作成のため、外国語文献読解のために必要な語学力が求められる。</p>
声楽		ソプラノ メゾソプラノ アルト テノール バリトン バス	<p>○声楽研究領域志願者は、以下の演奏課題（AタイプとBタイプ）のうち、いずれかを選択し受験すること。なお、オペラを専門として希望する者は、Bタイプを選択すること。</p> <p>○専攻実技試験の演奏時間の総計はA、B両タイプとも20分以上、30分以内とする。但し、応募状況により変更されることがある。</p> <p>○A、B両タイプとも専攻実技試験においては原則としてピアノ伴奏とするので、志願者は伴奏者を同伴すること。</p> <p>○歌唱は暗譜とする。</p> <p>○出願の際は所定の用紙により曲目を提出すること（アリア等の曲名については、オペラの題名・役名、冒頭の歌詞を記入すること）。なお、提出曲目の楽譜を添付する必要はない。</p> <p>○専攻実技試験での指定曲目は、専攻実技試験の2週間前（平成30年1月26日（金）午前11:00以降）に教務係にて通知する。</p> <p>○合格者が所属する講座は入学後に発表される。</p> <p><b>【Aタイプの演奏課題】</b> 自由曲20曲を提出すること。専攻実技試験においては、通知により指定された曲（複数曲）と志願者が選んだ曲を併せて演奏すること。その場合、演奏時間の総計が時間制限の範囲内となるよう配分すること。</p> <p><b>【Bタイプの演奏課題】</b> 1. 任意のオペラ2演目を選び、その中から主役または準主役の役を各1役ずつ合計2役を提出する。専攻実技試験においては、指定された箇所を演技付きで演奏すること。その際、椅子、テーブル、簡単な小道具の使用は認める。なお、共演者の同伴については、志願者の随意とする（共演者は必ずしも暗譜でなくても可）。</p> <p>2. 自由曲として、上記1.とは異なる任意のオペラアリア（通常アリアとして扱われるカヴァティーナ、ロンド、ロマンツァ、アリエッタ等を含む）5曲を提出する。専攻実技試験においては掲示により指定された1曲と志願者が選んだ1曲の合計2曲を演奏する。但し、事情により短縮される場合もある。</p> <p>3. 上記1. 2. の演奏時間の総計が時間制限の範囲内となるよう配分すること。</p>

研究領域	研究分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
鍵盤楽器		ピ ア ノ	演奏時間 60 分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏すること。但し、プログラムに修士修了試験で演奏した曲目を含める場合は、そのうち 30 分程度までとする。修士修了試験に演奏した曲目の一覧表を提出すること。演奏は、原則として暗譜とする。
		オルガン	演奏時間 60 分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏すること。但し、プログラムに修士修了試験で演奏した曲目を含める場合は、そのうち 30 分程度までとする。修士修了試験に演奏した曲目の一覧表を提出すること。 オルガンの仕様については、教務係に問い合わせること。 アシスタントは同伴すること。
◎弦・管・打楽器研究領域 共通注意事項 ○ピアノ伴奏を必要とする場合は試験当日、伴奏者を同伴すること。			
弦・管・打楽器	弦楽器	ヴァイオリン ヴィオラ チェロ コントラバス ハープ	演奏時間 60 分間前後の自由曲をリサイタル形式により演奏すること。(修士修了試験に演奏した曲目と重複しても可)
	管楽器	フルート オーボエ クラリネット ファゴット サクソフォーン ホルン トランペット トロンボーン ユーフォニアム チューバ	コンチェルト 1 曲, ソナタ 1 曲, その他 1 曲, 計 3 曲の自由曲を演奏すること。
	打楽器		コンチェルト 1 曲, 1 種類の楽器による打楽器 1 曲 (ティンパニ, マリンバ, 鍵盤打楽器を含む。), その他 1 曲, 計 3 曲の自由曲を演奏すること。
室内楽			1. 受験可能な編成は次の通りとする。 「ピアノとヴァイオリン」, 「ピアノとヴィオラ」, 「ピアノとチェロ」, 「ピアノとフルート」, 「ピアノ三重奏 (ピアノとヴァイオリンとチェロ)」, 「弦楽四重奏」, 「木管五重奏」 2. 演奏時間 60 分前後の自由曲 (複数) をリサイタル形式により演奏すること。共演者を同伴すること。楽譜の使用可。「グループでの受験」「個人での受験」のいずれも可能。ただし、「ピアノ三重奏」「弦楽四重奏」「木管五重奏」においては「グループでの受験」のみ可能。

研究領域	研究分野	声種 楽器名等	課題曲等
古	<p>◎古楽研究領域 共通注意事項</p> <p>入学試験で使用できる鍵盤楽器は次の通りである。</p> <p>①チェンバロ（フレンチタイプ 8'8"4 2段鍵盤 FF-f" a'=415 ヤング第2調律）</p> <p>②チェンバロ（イタリアンタイプ 8'8", 1段鍵盤 C-d" a'=415 ミーントーン調律）</p> <p>③フォルテピアノ（ワルターモデル FF-g" a'=430）</p> <p>④オルガン</p> <p>このうちの楽器を使用するか、作品・演奏曲目提出用紙の下欄（☆）に記入すること。</p> <p>オルガンの仕様については、教務係に問い合わせること。</p> <p>なお、必要なアシスタントは同伴すること。</p> <p>口述試問の際に、通奏低音（数字付き低音）の基礎的な知識の有無を問う簡易な試問を行うことがある。</p> <p>※演奏する作品の楽譜すべてをA4判でコピーし、左上1か所をホチキス等で留めたものを4部作成し、出願とともに本学音楽学部教務係宛に提出すること。「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて書留速達により郵送すること。</p>		
	バロック声楽	<p>演奏時間 40 分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏する。なおプログラムの一部に無伴奏作品（コラールやグレゴリオ聖歌など）を含めること。また、プログラムに修士修了演奏試験で演奏した曲目を含める場合は最大で 15 分程度とする（出願時に修士修了試験で演奏した曲目の一覧表を提出すること）。必要な共演者は同伴すること。</p>	
	バロックヴァイオリン バロックチェロ リコーダー	<p>演奏時間 60 分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏する。なおプログラムの一部に無伴奏作品を含めること。また、プログラムに修士修了演奏試験で演奏した曲目を含める場合は最大で 20 分程度とする（出願時に修士修了試験で演奏した曲目の一覧表を提出すること）。必要な共演者は同伴すること。</p>	
楽	チェンバロ バロックオルガン フォルテピアノ	<p>1) 演奏時間 60 分前後の自由曲をリサイタル形式により演奏する。プログラムに修士修了演奏試験で演奏した曲目を含める場合は最大で 20 分程度とする（出願時に修士修了試験で演奏した曲目の一覧表を提出すること）。</p> <p>2) 下記の様式による即興演奏を行う。 （課題は演奏の 20 分前に与えられるが練習することはできない。）</p> <p>【即興課題（チェンバロ、フォルテピアノ専攻）】</p> <p>C.P.E.Bach : Versuch über die wahre Art das Clavier zu spielen（東川清一訳『正しいクラヴィーア奏法』全音楽譜出版社）の第 2 部第 41 章「自由なファンタジー」に記述されているやり方になって、当日与えられる数字付き低音に基づいて「自由なファンタジー」を即興する。</p> <p>【即興課題（バロックオルガン専攻）】</p> <p>当日与えられる旋律を定旋律として、下記の 3 楽章からなるフランス古典様式の Suite（組曲）を即興演奏する。</p> <p>1. Plein Jeu（定旋律はペダルに置き、すべて使用すること）</p> <p>2. Tierce en Taille または Chromhorne en Taille（Taille に置かれたソロ声部の冒頭に、定旋律の冒頭モチーフを使用すること）</p> <p>3. Basse de Trompette または Dialogue sur Grands Jeux（定旋律の使用は自由）</p>	



研究領域	研究分野	声 種 楽器名等	課 題 曲 等
指 揮			<p>1. DVD 審査 願書提出時に受験者本人の指揮による下記課題曲を録画・録音したDVD-Rを提出すること。 課題曲：C.W.v.Weber：Ouverture zur ‘Der Freischütz’</p> <p>※指揮者が受験者本人であることを確認できるようにすること。なお演奏はオーケストラによるものでもピアノ2台によるものでも可とする。 DVD-RはNTSCまたはPALシステムによるものとし、DVD-Rに受験者氏名及び収録日時を明記すること。 審査後、DVD-Rは返却しない。</p> <p>2. レパートリーの一覧表を提出すること。</p> <p>3. バロック、クラシック、ロマン、近代、現代の各時代にわたる作品8曲ないし10曲の自由曲を提出し、試験当日、その中から指定された曲を指揮すること。(ピアノによる)</p> <p>4. 上記2.の提出した曲についての口述試問を行う。</p>

研究領域	研究分野	声楽器名等	課題曲等
邦楽	<p>《邦楽共通注意事項》</p> <p>○各専攻とも下記課題曲3曲の他に、曲種の異なる自由曲7曲を提出し、その中から指定された曲を演奏すること。演奏は原則として暗譜とする。</p> <p>○当該研究分野以外の研究分野で修士の学位を取得した受験者には、邦楽に関する基礎能力検査※を課す。</p> <p>※口述試問（各研究分野に関する専門知識についての審査）</p>		
	三味線音楽	長唄三味線	「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲） 「翁千歳三番叟」（十世杵屋六左衛門作曲） 「一人椀久」（作曲者不詳）
		常磐津三味線	「三世相三社祭礼の段」（四世岸澤古式部作曲） 「竹生島」（五世岸澤古式部作曲） 「太田道灌（上）」（六世岸澤式佐作曲）
		清元三味線	「長生」（初世富本豊前掾作曲） 「幻椀久」（五世清元延寿太夫作曲） 「隅田川」（二世清元梅吉作曲）
		長唄	「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲） 「翁千歳三番叟」（十世杵屋六左衛門作曲） 「一人椀久」（作曲者不詳）
		常磐津	「新山姥」（六世岸澤式佐作曲） 「太田道灌（上）」（六世岸澤式佐作曲） 「式三番叟」（三世岸澤古式部作曲）
		清元	「長生」（初世富本豊前掾作曲） 「幻椀久」（五世清元延寿太夫作曲） 「隅田川」（二世清元梅吉作曲）
	箏曲	山田流	「竹生島」（千代田検校作曲） 「雨夜の月」（初世中能島松聲作曲） 「赤壁賦」（中能島欣一作曲）
		生田流	箏「西行桜」（菊崎検校作曲） 箏「尾上の松」（宮城道雄手付） 三絃「青柳」（石川勾当作曲）
	尺八	琴古流	「真虚霊」（初世黒沢琴古編曲） 「霧海簾鈴慕」（初世黒沢琴古編曲） 「虚空鈴慕」（初世黒沢琴古編曲）
		都山流	「岩清水」（流祖中尾都山作曲） 「寒月」（流祖中尾都山作曲） 「懐月調」（流祖中尾都山作曲）
	能楽	楽	仕舞 「忠度」 「井筒」 「野守」
	能楽	囃子	「乱」 「獅子」 「盤渉楽」
	邦楽	囃子	「英執着獅子」（初世杵屋弥三郎作曲） 「春興鏡獅子」（三世杵屋正治郎作曲） 「操り三番叟」（五世杵屋弥十郎作曲）
	日本舞踊		長唄「浅妻船」 清元「名寄の寿」 清元「傀儡師」 課題曲は本学の用意した音源を使用する。 注1) 録音音源は以下のものを使用する。 ・長唄は、「芳村五郎治長唄大全集」の音源を使用。 ・清元は、「ビクター版清元志寿太夫全集」の音源を使用。 注2) 各曲とも小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。 注3) 指定された音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡すること。

研究領域	研究分野	声 種 楽 器 名 等	課 題 曲 等
音楽文化学	音 楽 学		専攻分野の論文（修士論文を含む）に関する口述試問を行う。 （口述試問に基礎学力及び実技を含めることがある。）
	音 楽 教 育		
	ソルフェージュ		
	音 楽 文 芸		
	音 楽 音 響 創 造		

(2) 研究計画に関する小論文及び口述試問

研究の目的及び方法について的小論文（試験時間2時間）を書く。小論文に関して口述試問を行う。（口述試問の際、演奏曲目に関する試問を加えることがある。）

(3) 語学

【語学共通注意事項】					
○各研究領域又は研究分野において指定された語学科目を受験すること。					
○外国人留学生志願者は母国語を選択できない。ただし「音楽学」研究分野志願者は下記に従うこと。					
研究領域	研究分野	受験科目	辞書使用の可否	試験時間	備考
作声 鍵盤 弦管 室内 古	曲楽 器楽 打楽 器楽	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」より選択 した1科目	可 (但し電子機器の物は不可)	1時間30分 (1科目)	
指	揮	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」より選択 した2科目	可 (但し電子機器の物は不可)	3時間 (2科目)	
邦	楽	下記2科目を受験すること。		3時間 (2科目)	
		「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」より選択 した1科目	可 (但し電子機器の物は不可)		
		「国語古文」	不可		
音楽文化学	音楽学	一般志願者 「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」・ 「スペイン語」・「ラテン語」・ 「中国語」・「韓国語」・「国語古文」より 選択した2科目。ただし「中国語」・「韓 国語」・「国語古文」は 日本・東洋音楽史志願者 のみ選択可。	不可	3時間 (2科目)	左記以外の言語について、 その言語能力を証明する書類 (様式自由)を出願時に添付する ことができる。ただしその場 合でも左記2科目を受験する こと。
		外国人留学生 次の①②の2科目を受験すること。 ①「現代国語」 ②「英語」・「独語」・ 「仏語」・「伊語」・「露語」・ 「スペイン語」・ 「ラテン語」・「中国語」・ 「韓国語」・「国語古文」より 選択した1科目。 但し「中国語」・「韓国語」・ 「国語古文」は日本・東洋音楽史 志願者のみ選択可。	可 (但し電子機器の物は不可)	3時間 (2科目)	(1) 母国語を選択してもよい。 (2) 左記以外の言語について、 その言語能力を証明する書類 (様式自由)を出願時に添付する ことができる。ただしその場 合でも左記2科目を受験する こと。
	音楽教育 ソルフェージュ	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」より選択 した1科目	可 (但し電子機器の物は不可)	1時間30分 (1科目)	
	音楽文芸	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」・「スペイン語」・ 「国語古文」より選択 した2科目	不可	3時間 (2科目)	
	音楽音響創造	「英語」・「独語」・「仏語」・ 「伊語」・「露語」・「スペイン語」・ 「国語古文」より選択 した1科目	不可	1時間30分 (1科目)	

#### 4. 試験日程

日程		平成30年 1月4日(木) ～12日(金)	1月26日(金) 11:00以降	2月1日(木) 16:00以降	2月2日(金)	2月6日(火)	2月7日(水)	2月8日(木)	2月9日(金)	2月16日(金) 14:00以降
作曲	研究領域	作品提出期間		第1次合格者 発表 試験日程及び 注意事項発表		「修士論文(提出作品)及び「研究計画に関する小論文」についての口述試問				
	声楽									
鍵盤楽器						オルガン 試奏日		「実技」実技、 研究計画に関する小論文、 修士論文についての口述試問	「実技」実技、 研究計画に関する小論文、 修士論文についての口述試問	
弦・管・打楽器	弦楽			試験日程及び 注意事項発表	研究計画に関する小論文					
	管打楽									
室内楽										
古楽						バロック オルガン 試奏日				
指揮	DVD-R 提出 期間			第1次合格者 発表 試験日程及び 注意事項発表				「実技」実技、 研究計画に関する小論文、 修士論文についての口述試問		
邦楽										
音楽文化学				試験日程及び 注意事項発表				「修士論文」及び「研究計画に関する小論文」についての口述試問		

最終合格者発表

- (注) 1. この日程は、志願者数等により変更することがある。その場合、変更した日程を平成30年2月1日(木)午後4時以降、受験上の注意事項とともに学内掲示及び掲示の1時間後に本学ホームページで発表するので、志願者本人が必ず確認すること。
2. 作曲・指揮研究領域は、提出作品、DVDに基づき審査を実施し、平成30年2月1日(木)に第1次合格者を発表する。
3. 試験日をまちがえた場合は、受験資格を失うので十分注意すること。
4. 合格者発表については、受験番号のみで行なうので、必ず受験票を持参すること。

#### VII 選抜試験場

東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

交通機関

J R 線	—上野駅公園口、鶯谷駅下車、徒歩約10分
東京メトロ	—千代田線根津駅 銀座線・日比谷線上野駅下車、徒歩約15分
京成電鉄	—京成上野駅下車徒歩15分

## VIII 最終合格者の発表

平成30年2月16日（金）午後2時以降、音楽学部内掲示板に掲示及び本学ホームページで発表する。

本学ホームページでも合格者の受験番号を掲載する。

入学試験実施日程表に示してある最終合格者発表の日時の1時間後（平成30年2月16日（金）午後3時頃）に掲載する予定である。

発表前後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がある。その際は、時間をおいて再度アクセスすること。

- (注) 1. 電話・電子メール等による可否等の問い合わせには、一切応じない。  
2. 最終合格者には、平成30年2月20日（火）（予定）に入学手続き書類を発送するので、出願時に「入学手続き書類送付用宛名ラベル」を願書と一緒に必ず提出すること。  
※宛名は日本国内に限るため、海外在住者は日本国内の代理人を指定すること。  
※最終合格したにもかかわらず入学手続き書類が平成29年2月24日（土）までに到着しない場合には、音楽学部教務係に連絡すること。  
3. 入学の条件  
平成30年3月までに修士の学位又は専門職学位取得見込で受験し、最終合格した者は、修士の学位又は専門職学位を取得していること。

## IX 入学手続き等について

### 1. 手続期間

持参受付：平成30年3月14日（水）及び15日（木）

午前10時から12時、午後2時から5時（14日は午後4時まで）

郵送受付：平成30年3月9日（金）必着

### 2. 場 所 東京藝術大学音楽学部 東京都台東区上野公園12-8

### 3. 入学料等の支払

**入 学 料** 338,400円（予定額）（平成30年3月本学大学院（修士課程）修了者及び国費外国人留学生は支払不要）

入学手続き終了者が平成30年3月31日（土）までに入学辞退を申し出た場合でも、入学料は返還しない。

\* 参考までに、入学者には上記入学料以外に次のような経費が必要となる。

- ・ 学生教育研究災害傷害保険料 2,600円
- ・ 学研災付帯賠償責任保険料 1,020円
- ・ 同声会会費（同窓会費） 60,000円（他大学出身者及び本学出身の未納者）

### ※授業料について

**授業料（前期分）** 267,900円（年額535,800円）〔予定額〕

（国費外国人留学生は支払不要）

- (注) 1. 授業料支払方法は口座振替（自動引落）による。前期分授業料の口座振替は平成30年5月下旬、後期分授業料の口座振替は平成30年11月下旬の予定である。  
2. 在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

## X 研究領域及び指導教員（五十音順）

平成29年7月現在

研究領域	指導教員	研究領域	指導教員	研究領域	指導教員	
作曲	小鍛冶 邦 隆 鈴木 純 明 野平 一 郎 林 達 也 安良岡 章 夫	弦・管・ 打楽器	漆原 朝 子 川崎 和 憲 河野 文 昭 清水 高 師 玉井 菜 採 中木 健 二 吉田 秀 〔管楽器〕 小畑 善 昭 古賀 慎 治 高木 綾 子 栃本 浩 規 山本 正 治※ 〔打楽器〕 藤本 隆 文	邦 楽	〔邦楽囃子〕 盧 慶 順 〔日本舞踊〕 露木 雅 弥	
声乐	〔独唱・オペラ〕 甲斐 栄次郎 川上 茂※ 櫻田 亮 佐々木 典 子 菅 英三子 手嶋 眞佐子 永井 和 子 萩原 潤 平松 英 子 福島 明 也 吉田 浩 之		室内楽	市坪 俊 彦 日高 剛 松原 勝 也	音 楽 文 化 学	〔音楽学〕 植村 幸 生 大角 欣 矢 塚原 康 子 土田 英三郎 西間木 真 福中 冬 子 〔音楽教育〕 佐野 靖 山下 薫 子 〔ソルフェージュ〕 テシュネ, ローラン 照屋 正 樹 〔応用音楽学〕 枝川 明 敬 畑 瞬一郎 〔音楽文芸〕 大森 晋 輔 杉本 和 寛 侘美 真 理 檜山 哲 彦 〔音楽音響創造〕 亀川 徹 後藤 英 西岡 龍 彦 丸井 淳 史 〔芸術環境創造〕 熊倉 純 子 毛利 嘉 孝
鍵盤楽器	〔ピアノ〕 青柳 晋 東 誠 三 有森 博 伊藤 惠 江口 玲 角野 裕 坂井 千 春 迫 昭 嘉 渡邊 健 二 〔オルガン〕 廣江 理 枝		古 楽	大塚 直 哉 野々下 由香里		
			指 揮	高 関 健		
弦・管・ 打楽器	〔弦 楽〕 池松 宏	邦 楽	〔三味線音楽〕 小島 直 文 味見 純 〔箏 曲〕 萩岡 松 韻 吉川 さとみ※ 〔能 楽〕 関根 知 孝 武田 孝 史			

(注) ※印の教員は平成30年3月31日に定年退職する。

## XI 個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりとする。

### 1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用する。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の保健管理に係わる業務で利用する。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用する。

### 2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがある。

- (1) 上記1.(1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
  - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究，学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
  - ②同声会（音楽学部同窓会）
  - ③東京芸術大学生生活協同組合



## 入学手続書類送付用宛名ラベル

※研究領域

※受験番号

### ①平成 30 年度入学手続書類送付用

〒	※仮学籍番号	
住所：	都・道 府・県	市・区 町・村
_____		
_____		
方		
氏名：	_____様	

### ②平成 30 年度入学手続書類送付用

〒	※仮学籍番号	
住所：	都・道 府・県	市・区 町・村
_____		
_____		
方		
氏名：	_____様	

博士用

- (注)
- ※印欄は、記入しないこと。
  - このラベルは、出願時に入学願書等と一緒に提出すること。
  - 太枠内に収まるよう、丁寧に記入すること。
  - ①・②の両方に同じ宛先を記入すること。
  - 宛先は日本国内に限る。(海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。)
  - 平成 30 年 2 月 20 日(火)発送(予定)に受け取りが可能な宛先を記入すること。  
帰省等で一定期間不在になる場合には必ず音楽学部教務係に連絡すること。

# 作品・演奏曲目提出用紙

研究領域	研究分野	声種又は楽器名等	氏名(ふりがな)

研究領域	※
受験番号	※

曲番	作曲者	作品・演奏曲目	調	作品番号又は整理番号	所要時間
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					

- (注) 1. 記入については裏面の記入要領を参照すること。  
 2. ※印欄は、記入しないこと。

☆室内楽研究分野志願者は、以下の項目を記入すること。  
 (いずれかに○)

I	個人	
II	グループ	

(グループ受験の場合、共演者を必ず記入すること)

1.	3.
2.	4.

☆古楽研究領域志願者は以下の項目を記入すること。

曲番	使用鍵盤楽器(①~④)

この用紙は音楽文化学研究領域志願者を除く志願者全員が提出するものである。

研 究 領 域	記 入 要 領
作 曲	提出する主要作品名を記入すること。
声 楽	<p>○演奏課題Aタイプを選択して受験する者 自由曲20曲の曲名を記入すること。調については、アリアの場合のみ、アリアの出だしの調（実際に演奏する）を記入すること。 「作品番号、又は整理番号」の欄は記入しないでよい。</p> <p>○演奏課題Bタイプを選択して受験する者 オペラ2演目（全曲）の演目名及び役名と、自由曲（アリア）5曲の曲名（上記2演目に含まれないもの）を記入すること。</p>
鍵 盤 楽 器	演奏時間60分間前後のリサイタル形式で演奏する自由曲名を記入すること。修士修了試験で演奏した曲目の一覧表をあわせて提出すること。
(弦楽器研究分野)	演奏時間60分間前後のリサイタル形式で演奏する自由曲名を記入すること。
(管楽器研究分野)	それぞれ指定された3曲の自由曲名を記入すること。
(打楽器研究分野)	それぞれ指定された3曲の自由曲名を記入すること。
(室内楽研究分野)	演奏時間60分間前後のリサイタル形式で演奏する自由曲名（複数）を記入すること。
古 楽	演奏時間60分間前後（バロック声楽志願者は40分前後）のリサイタル形式で演奏する自由曲名を記入すること。また、本学の用意する鍵盤楽器を使用する場合、各曲ごとの使用鍵盤楽器を作品・演奏曲目提出用紙下欄（☆）に記入すること。修士修了試験で演奏した曲目の一覧表をあわせて提出すること。
指 揮	<p>○指定された作品8～10曲の自由曲名を記入すること。</p> <p>○レパートリーの一覧表は、本用紙に準じた適宜な用紙に記入すること。</p>
邦 楽	課題曲3曲の他に、曲種の異なる自由曲7曲の曲名を記入すること。

※作品・演奏曲目等の記入は原語で行うこと。



東京藝術大学大学院音楽研究科（博士後期課程）

学 生 募 集 要 項

平 成 29 年 7 月 発 行

東 京 藝 術 大 学